

日南小中学校通信

平成27年10月30日発行 No. 8

【日南小】

TEL(0859)77-1200 FAX(0859)77-1201

【日南中】

TEL(0859)82-1225 FAX(0859)82-1226

<http://cmsweb2.torikyo.ed.jp/nichinan-e> 【日南小】

<http://www.torikyo.ed.jp/nitinan-j/> 【日南中】



「英語で意思疎通」

日南町立日南中学校校長 花倉 積

今年も京都大学経営管理大学院留学生との交流を実施した。今年度来校してくれた留学生の国籍を見てみると、フィリピン、ベトナム、トルクメニスタン、スワジランド、インド、ドイツ、中国、インドネシア出身の10人であった。ということは、それぞれの学生には、母国語があり、お互いの意思疎通の手段として、英語を使っているという事だ。英語を母国語とする人は少ないが、英語を共通言語としている人の数は、大人数なのだ。それにしても彼らは、流暢に話すなあ？

9月7日(月)10人の留学生は、小学校5・6年生と対面した。留学生が英語で話しかけ、小学生が応える……。私たち大人は、小学生はわかっているのか？と疑問になり、「通訳してやらねば・・・」とお節介を働かせようとする場面もあった。が、大人の心配をよそにちゃんと質問に答えていた。中学生はというと会話になっているのではない。「素晴らしい！」思い切って話しかけてみればいいのに・・・！その思い切りが、なかなか出せないのだが、質問されたことには応えている。

今年度から、アメリカ派遣の話が復活している。以前は、スコッツバレーであったが、諸般の事情があり、シアトルに行こうとしている。今年度3月末派遣には、現中学校3年生も参加可能である。来年度以降も継続される予定である。毎年10人位の派遣となる。アメリカではホームステイの予定で、話が進んでいる。

お世話になった方をお迎えして

前期ブロック 「秋祭り集会」



10月27日 前期ブロックは「ともいき科」の取り組みとして「秋祭り集会」を実施しました。集会のねらいは、「食べた人に喜んでもらえるお汁を作り、紹介する」、「日頃お世話になっているボランティアの方に感謝の気持ちをもってもてなす」というものでした。小学1年生から4年生までが縦割りグループを編成し、それぞれのグループでお汁を紹介するポスター作り、食材を工夫したお汁づくり、もてなすための会場づくりなどを分担して計画・準備しました。子ども達がよくがんばり楽しい秋祭り集会を実施することができました。

日南小学校ではこのような集会は初めてでしたので実施するまで職



員も不安を抱きながら当日に臨んだのですが、子ども達は自分の役割をしっかりとやり遂げ、すばらしい集会となりました。今後も子ども達の力を信じ、様々なことにチャレンジさせたいと思います。指導して頂いた食育推進員さんありがとうございました。

前期ブロックで行った秋まつりは、今年初めて行う活動でした。調理をしたり、プレゼンをしたり、会場設営をしたりと盛りだくさんの内容で、1～4年生にできるかなと心配していましたが、素晴らしいチームワークでやり遂げてくれました。型抜きをした人参や団子の入った汁、折り紙で作った箸置きやもみじを使った机の飾りつけ、食育推進委員さんから教えて頂いたことをカラフルに分かりやすくまとめたポスターなど、各グループの工夫がよく見えるお祭りとなりました。食育推進委員の方や招待したボランティアの方にも喜んで頂き、日頃の感謝を伝えることができたと思います。

「秋まつり集会」担当 澤田教諭より

「日南町のお宝をさがそう」

小学3年 総合的な学習

小学3年生は、ふるさと学習の一環として総合的な学習の時間に日南町の自然、歴史、伝統文化、産業などについて調べています。

10月19日には多里地区に、10月26日には山上地区に出かけて直接地域の方からお話を伺いました。また、10月20日には役場職員さんに学校へ来て頂き、日南町の林業についてお話を伺いました。子ども達はお話を聞くなかで、日南町にはたくさんの自慢できるものがあることを知り、もっと調べてみたいという気持ちを強くしました。

今後はその他の地域のことも調べたり、実際に出かけていったりしながら、調べたことをまとめ、2月参観日「学習成果発表会」で発表する予定です。



小学校学習発表会

11月21日(土)

学習発表会まで20日余りとなりました。児童、職員一丸となってがんばりますので楽しみにして頂きたいと思います。

尚、今年も昨年同様に土曜授業として半日開催で実施します。今年は、5・6年生が郡音楽会での演奏・合唱を披露します。どうぞご期待下さい。



人権を考える秋



【人権センター訪問】

日南中学校の生徒全員が、10月16日に人権センターを訪れ、人権学習を行いました。これは、17、18日に開催されたふれあい文化祭にあわせて行った学習です。展示作品の鑑賞の他、1年生は人権センターの成り立ち等の学習、2年生は人権センター周辺のフィールドワークを行い、3年生は身近にある差別体験についてお話を聞きました。人権センターを訪れて学習をすることは、人権について自分を振り返ったり、見つめ直したりするきっかけとなります。中学校では1年に1度行うこの学習が非常に重要な位置を占めています。

【人権教育参観日】

11月14日(土)、にちなんサポートの日に併せて人権教育参観日を行います。昨年まで参観日として公開をしていた人権弁論大会は、平日ということもあり、なかなか保護者の方に出席していただくことができなかったため、今年の参観日は土曜日に設定をしました。各学年とも、教室で行う人権学習を2時間、手話教室を1時間行い、そのすべてを公開としています。時間的に余裕がないため、学級や学年での懇談は設定していませんが、是非ともおいでいただき、学習の様子をご参観ください。小学校の保護者の方々も参観可能です。声を掛け合ってお越しください。

11月20日には、校内人権弁論大会を開催します。特に参観日とはしておりませんが、保護者の方のご参観も可能です。都合が付けば、こちらにもお越しください。

粘 走 ～ 鳥取県駅伝競走大会 ～

東伯総合公園を会場として10月20日に開催された鳥取県駅伝競走大会、日南中学校は12年ぶりに男女アベック出場をしました。駅伝は東部や中部のレベルが非常に高いため、西部地区大会の記録から判断すると苦戦が予想されました。そのような状況の中、レースの結果は女子が24位、男子が26位でした。34チーム中での順位ということで、上位とは言えないのですが、西部地区中学校のみで順位をつけると、男女とも7位となり、西部地区大会の男子6位、女子9位と遜色のない成績でした。よく力を出したと思います。今年のチームの主力は男子も女子も2年生です。来年は、さらに上位を期待できそうです。

【レースの概況(女子)】

1区の池岡さんは自分のペースを守り16位でタスキをつなぎました。2～4区の柴田さん、増浦さん、川田さんの3年生は、少しずつ順位を下げましたが、前の選手との差を広げられないような粘りの走りを見せました。そして、アンカーの青木さんがその集団に追いつき、一人ずつ抜いて24位でゴール。昨年の25位から一つ順位を上げました。狙っていた「わかば賞」には届きませんでしたが、来年度の目標ができたように思います。

【レースの概況(男子)】

1区の片岡くんは最後尾でスタートし、遅れる選手を抜いていくという落ち着いたレース運びでした。タスキを受けた2区からの坂本くん、藤井くん、青戸くん、影井くんは、安定した走り全員が10'30"を切りました。そして、アンカーの若月くんが9分台の快走により26位でゴール。11年ぶりの参加ということを考えると大健闘だと思います。今年、県大会の雰囲気を経験したことが、来年のレースに生きることでしょう。来年度は県大会出場が目的ではなく、県大会入賞が目的になりそうです。

※ 今年の駅伝を振り返ると、3年生の頑張りが非常に大きく、躍進の原動力となったと感じます。また新たな日南中学校の歴史を創りました。立派な3年生でした。

※ ふる里まつりに併せて実施された日南町駅伝競走大会では、中学生も力走をしました。男女それぞれに5区間あるのですが、男子で2区間、女子で4区間、区間新を記録しました。さらに、男女とも優勝タイムが新記録でした。今年度の駅伝の盛り上りを町駅伝でも披露することができました。